周囲との社会的な繋がりや精神的サポートは妊娠糖尿病の発症率の低下に関連する

Mizuno *et al*. Association between social capital and the prevalence of gestational diabetes mellitus: An interim report of the Japan Environment and Children's Study. Diabetes Res Clin Pract. 2016;120:132-41. doi:10.1016/j.diabres.2016.07.020.

【はじめに】

妊娠中に糖の代謝異常が見つかる妊娠糖尿病は、出産リスクの増加に加え、母子の健康にも影響を及ぼします。また、その発症には様々な要因が関係していると考えられています。一方、「親戚、隣人、社会との社会的交流の質と頻度」はソーシャルキャピタルと呼ばれ、最近では健康との関連性が示されています。そこで本研究は、ソーシャルキャピタルと妊娠糖尿病との関連を明らかにすることを目的としました。

【調査項目】

全国15地域のエコチル調査センターで調査に参加し、2011年6月から2011年12月の間に出産した8,874名の妊婦を対象としました。ソーシャルキャピタルに関する9項目の質問への回答にもとづき、（1）ソーシャルキャピタルに関する9つの質問全て、（2）情動的支援と隣人への信頼、（3）一般的信頼、の3つの指標をつくり、それぞれの指標と妊娠糖尿病との関連を調査しました。

【結果】

ソーシャルキャピタルに関する指標	妊娠糖尿病有病率のオッズ比※
ソーシャルキャピタルに関する9つの質問全て	
ソーシャルキャピタルが中～高程度	1.057
ソーシャルキャピタルが低～中程度	1.065
ソーシャルキャピタルが低い	1.299
情動的支援と隣人への信頼	
情動的支援が低～中程度で信頼度が高い	0.794
情動的支援が高く信頼度が中程度	0.847
情動的支援が高く信頼度が低い	**0.651**
一般的信頼	
近隣信頼が中～高程度で一般信頼度が低～中程度	0.977
近隣信頼が低～中程度で一般信頼度が中～高程度	0.899
近隣信頼が低く一般信頼が高い	0.735

調査した8,874名のうち、204名（2.30%）が妊娠糖尿病でした。また、ソーシャルキャピタルに関する指標のうち、情動的支援と隣人への信頼の指標である「情動的支援が高く信頼度が低い」ことが、妊娠糖尿病の有病率と有意に関連していました。

※オッズ比：ある事象の起こりやすさを2つの群で比べたもので、数字が大きいほど起こりやすいことを示します。この場合、事象は「妊娠糖尿病の有病率」を指します。

【この調査でわかったこと】

情緒的サポートと近隣住民への信頼の指標は、妊娠糖尿病の有病率と関連していることが分かりました。本研究の結果を母子保健ガイドラインや地域政策の策定に利用することで、妊娠糖尿病をはじめとした妊娠中の健康改善が期待されます。

Written by Yukiko Tando